

【議事録】

主 題 令和元年度 第2回つくばみらい市地域公共交通会議

- 日 時：令和元年10月11日（金） 午前10時～午前11時25分
- 場 所：つくばみらい市役所谷和原庁舎 2階 会議室 1, 2
- 出席委員：鐘ヶ江礼生奈会長，秋山義継副会長，皆川誠司委員（代理：高見耕平氏），久保田博文委員（代理：岡崎一裕氏），武藤成一委員，谷田部正利委員（代理：三森秋彦氏），富山和之委員，澤島政志委員，服部透委員，松本譲二委員（代理：飯島宣昭氏），白鳥治代委員，荒井栄司委員，下鳥百合子委員，島崎邦雄委員，染谷礼子委員，山崎將義委員（代理：滝本真弓氏），小林寛明委員，伊藤和浩委員，渡来真一委員（代理：大滝渉氏）
以上19名
- 欠席委員：山下 明委員，小川一成委員，山野井周一委員，中嶋克寿委員，高橋幸司委員，森伸次委員 以上6名
- 事務局：都市建設部 奈幡部長
都市計画課 梅本課長，荒井副参事兼課長補佐，渋谷主査，島田主事
（株）アルメックVPI 内山征，和田早永
- 傍聴人：なし

●次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題 (1) コミュニティバス再編ルートの一部変更について
(2) コミュニティバス再編停留所・運行ダイヤ素案について
(3) コミュニティバス車両デザインの選定について
(4) その他
 - ・平成30年度コミュニティバス・デマンド乗合タクシー実績報告
 - ・病院バス事業について（守谷慶友病院シャトル便）
- 4 閉会

●議事要旨

議題

- (1) コミュニティバス再編ルートの一部変更について
 - ・コミュニティバス再編ルート（谷井田ルート）の一部変更について承認された。
- (2) コミュニティバス再編停留所・運行ダイヤ素案について
 - ・コミュニティバスの再編停留所及び運行ダイヤの素案について説明し，承認された。
- (3) コミュニティバス車両デザインの選定について
 - ・委員投票により車両デザインが選定された。
 - ・選定デザインに，市イメージキャラクターの「みらいりんぞう」をレイアウトすることをデザイナーに要望することとなった。
- (4) その他
 - ・平成30年度コミュニティバス・デマンド乗合タクシー実績を報告した。
 - ・守谷慶友病院シャトル便の伊奈庁舎への立ち寄りについて報告した。

●議事録

1 開会（午前10時）

2 会長あいさつ

3 議題

(1) コミュニティバス再編ルートの一部変更について

- ・コミュニティバス再編ルート（谷井田ルート）の一部変更について承認された。

【質疑等】

委員意見：カスミ谷井田店への乗り入れのためのルート変更ということだが、今後、カスミ富士見ヶ丘店やみらい平駅前店への乗り入れ要望があった場合はどうするのか。

事務局：駐車場内への乗り入れは、カスミ様と運行事業者の関東鉄道様と市で駐車場内乗り入れについての協議を行った。カスミ富士見ヶ丘店とみらい平駅前店に関しては、現段階で、安全が確保できないこと、ヨークベニマルは、これまでの事例があり駐車場の中に入るのは難しいというお話を頂いている。そのようななかで、協議が整ったのが、カスミ谷井田店である。乗り入れしない店舗については、店舗近くに停留所を設ける。また、今後、環境等が変われば協議を進めていきたいと考えている。

副会長：この地域は、広い市域を有しており、これから様々な要望がでてくる。今回、安全が確保できる、カスミ谷井田店でテストアンドエラーをやってみるということだが、乗り入れ後、多くの地域から、商業施設への乗り入れの要望がでてくるのが想定される。行政として費用と安全面を考慮し、どれだけ要望に応えられるか、細やかな配慮をして説明していくことが必要である。

事務局：スーパーの駐車場は、利用者の車両が頻繁に出入りしている。特にみらい平地区の店舗は、駐車場のスペースが大きく、一般車両の出入りが相当数あり、安全確保が難しいとのことであり、谷井田店のみとなった。

副会長：全てのことをコミュニティバスでカバーするのは難しい。様々な異種交通手段があり、交通需要密度や利用度の関係で、少ない密度のところは乗合タクシーを利用してもらうなど、できるだけ様々な要望に応えることが必要である。

(2) コミュニティバス再編停留所・運行ダイヤ素案について

- ・コミュニティバスの再編停留所及び運行ダイヤの素案について説明し、承認された。

【質疑等】

なし。

(3) コミュニティバス車両デザインの選定について

- ・委員投票により車両デザインが選定された。 A案9票 B案2票 C案8票
- ・選定されたA案に、市イメージキャラクターの「みらいりんぞう」をレイアウトすることをデザイナーに要望することとなった。

【質疑等】

委員意見：B案に関しては、現行のコミュニティバスのデザインと似ている。色とデザインという部分でA案が良いと思う。C案の「みらいりんぞう」をレイアウトしたのも捨てるのが難しい。そこでA案の車両前後のどこかに「みらいりんぞう」をレイアウトすることは可能か不可能か。

事務局：提案している3案は、デザイナーに作成いただいたものである。仮にA案が選定された場合、「みらいりんぞう」をレイアウトすることが可能かどうかをデザイナーへ相談する。可能ということであれば要望をお伝えする。

難しい場合は、原案どおりとする。

会 長：C案の「みらいりんぞう」のレイアウトは車両の窓に一部かかっているが、安全上問題ないのか。

事 務 局：他自治体においては、窓にかかるデザインを採用しているところもある。特殊なシールを使用することで、中から外が見える、外からはデザインが見えるようなラッピングの方法がある。

副 会 長：コミュニティバスは目立つ、その街のシンボリックなものである。可能な限りA案の中に、「みらいりんぞう」をレイアウトすることをデザイナーと調整していただきたい。

(4) その他

- ・平成30年度コミュニティバス・デマンド乗合タクシーの利用実績を報告した。
- ・守谷慶友病院シャトル便の伊奈庁舎への立ち寄りについて報告した。

【質疑等】

委員意見：平成29年度のデマンド乗合タクシーを利用した70歳以上の利用者数は。

事 務 局：4,780人である。

委員意見：デマンド乗合タクシーの予約について、利用する3日前に予約の電話をしても、一杯で予約できない状況にある。現在のデマンド乗合タクシーの利用状況はいかがか。

事 務 局：現在、デマンド乗合タクシーの予約は運行日の3日前から可能となっている。利用当日に予約がとれないとの声はあるが予約受付開始後、すぐに予約が一杯となる状況ではなく、稀なケースであると考えます。

副 会 長：コミュニティバスの利用実績について、ピークが44,884人、昨年度が27,128人であり、ピークと比べて約1万7千人減少している。平成26年度導入のデマンド乗合タクシーが約7千人の利用となっており、コミュニティバス利用者がデマンド乗合タクシーに転換したとしても、約1万人の減少である。利用時間帯や曜日等のデータを解析することが重要である。利用する人も利用しない人も満足するようなコミュニティバスの再編を望む。

委員意見：コミュニティバスの利用者数が、平成26年度に約1万2千人と前年度と比較し減少している。デマンド乗合タクシーに移行したとしても数字が合わない。事務局は、減少した原因を曖昧にせず、しっかりと分析しなければ、今回の再編も同じ結果になる。今回の再編は、ピーク時の利用者数に戻すためにやるのか、ピーク時よりもプラスの利用者数を目指すのか、目標をはっきりさせてもらいたい。現在、福岡地区・十和地区は運行されていないし、再編後も運行されない。見直すのであれば、見直した成果がでるような目標を設定し、結果をオープンにしてほしい。

事 務 局：コミュニティバスについては、スクールバスのような利用や通勤での利用があったが、再編後のダイヤの関係で利用者数が減少したことも要因の一つとして捉えている。

コミュニティバスの利用者を、ピーク時の利用者数に戻すのは大変なことであるが目標としていきたい。

委員意見：市外総合病院へデマンド乗合タクシーを運行してもらいたい。

事 務 局：デマンド乗合タクシーの市外運行に関しては、以前よりこの会議においてもご意見を頂いているが、制度上の制約などがあり、難しいところである。また、病院バス事業として市外総合病院への交通手段を検討しているところである。

委員意見：慶友病院のシャトル便の利用条件はあるのか。誰でも乗れるのか。

事 務 局：慶友病院へ通院する方を想定している。

7 閉会（午前11時25分）

●配布資料

- 資料1 コミュニティバス再編ルートの一部変更について
- 資料2 コミュニティバス再編停留所・運行ダイヤ素案について
- 資料3 コミュニティバス車両デザインの選定について
- 資料4 平成30年度コミュニティバス・デマンド乗合タクシー実績報告
- 資料5 守谷乗り入れ病院シャトル便時刻表